

## 令和6年度 当初予算関連資料

令和6年度当初予算のポイント・主要事業  
(環境生活部関係)

令和6年3月  
環境生活部

## 【予算調製にあたっての基本的な考え方】

令和6年度当初予算は、部の使命である次の4つの方向性を柱として、県民の皆さんが未来に希望を持ち、幸福を感じながら、元気に、かつ安全・安心に暮らすことのできる持続可能な地域の実現をめざして、選択と集中により調製しました。

### ＜環境生活部の使命＞

- ・ 県民の皆さんとの連携による交通事故の防止、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援の推進に取り組み、くらしの安全・安心の実感を高めます。
- ・ 県民一人ひとりが互いの人権を尊重するとともに、性別や国籍等にかかわらず、誰もが希望を持って挑戦、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けた取組を進めます。
- ・ 三重の持つ魅力や多様性を感じる、文化の薫り高い生活の中で、心の豊かさを育む取組を進めます。
- ・ 地球温暖化対策（緩和と適応）、大気・水環境の保全、廃棄物の3R＋Rと適正処理の推進を通じて、環境への負荷が少ない持続可能な社会をめざします。

このような考え方のもと、令和6年度当初予算においては、「誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり」「人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり」「文化と生涯学習の振興」「2050年カーボンニュートラルの実現」「持続可能な循環型社会の構築」「『きれいで豊かな海』の実現と良好な生活環境の保全」について重点的に取り組みます。

### (1) 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

県民の皆さんとの連携により、交通事故の防止や消費生活の安全確保、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援に取り組み、くらしの安全・安心を推進します。

性被害への対応については、「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」において、引き続き、相談、付き添い支援に取り組むとともに、性犯罪・性暴力の根絶に向けて、条例制定の検討を進めていきます。

### (2) 人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

県民一人ひとりが互いの人権を尊重するとともに、性別や国籍等にかかわらず、誰もが希望を持って挑戦し、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けた取組を進めます。

「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に基づいて相談体制を充実させるとともに、人権啓発やインターネット上の人権侵害対策を講じるなど総合的な対策を推進します。

### (3) 文化と生涯学習の振興

今後の文化振興施策の具体的な方向性を定めた「三重県文化振興計画（仮称）」に基づき、文化の力で心豊かに活力ある三重の実現に向け、施策を着実に推進していきます。県総合博物館（MieMu）や斎宮歴史博物館、県総合文化センターでは、開館周年にあわせて、子どもから大人まで楽しめる企画展や連携イベントを開催するとともに、県立美術館においては、子どもたちが著名な美術作品にふれる機会を創出するため、収蔵作品の充実を進めるなど、県民の皆さんが文化にふれ親しむ機会を提供します。また、斎宮を核とした文化観光の取組により、斎宮の賑わいを創出します。

#### (4) 2050年カーボンニュートラルの実現

カーボンニュートラルの実現に向けて、太陽光発電設備等の導入による創エネとエネルギーの地産地消を進めるとともに、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る取組の展開やその定着を促進します。また、再生可能エネルギーの導入等が環境に配慮して行われるよう、環境影響評価制度を適切に運用します。

#### (5) 持続可能な循環型社会の構築

持続可能な循環型社会の構築に向け、市町、事業者、NPO等のさまざまな主体とのパートナーシップを強化し、新たな知見や技術を積極的に活用することにより、3R+Rによる資源の有効利用の促進や廃棄物処理の安全・安心の確保に取り組めます。また、循環関連産業の振興を通じ、脱炭素化や地域課題の解決にもつながる資源循環の取組を促進します。

#### (6) 「きれいで豊かな海」の実現と良好な生活環境の保全

従来の水質の「きれいさ」に加え、生物生産性や生物多様性にも配慮した「きれいで豊かな海」の実現に向け、さまざまな主体と連携し、総合的な施策を推進するとともに、伊勢湾流域圏で連携し、海洋ごみの発生抑制に取り組めます。また、良好な生活環境の保全に向けた取組を継続します。

## 【主な重点項目】

### (1) 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

#### ① (一部新) 交通弱者の交通事故防止事業 予算額 8, 228千円

高齢者や歩行者、自転車利用者等の交通弱者等を対象に、テレビ(WEB配信)等を通じた「横断歩道の歩行者優先」など交通ルールの重点的な広報や、ヘルメット着用促進を含めた自転車安全利用の啓発活動に取り組み、交通安全意識の更なる向上を図ります。

#### ② (一部新) 交通安全研修センター管理運営費

予算額 50, 742千円

県交通安全研修センターにおいて、道路交通法の改正に準拠した設備(運転シミュレーター)への更新などを進め、幼児から高齢者まで幅広い県民の皆さんを対象にした参加・体験・実践型の交通安全教育を行います。また、地域や職域で活動する交通安全教育指導者の養成・資質向上を図ります。

#### ③ (一部新) 飲酒運転0(ゼロ)をめざす推進運動事業

予算額 4, 482千円

「第3次三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす基本計画」をふまえ、テレビ(WEB配信)等を活用した広報とともに、酒類の販売や提供店等への重点的な啓発等により、飲酒運転根絶に向けた取組を進めます。また、飲酒運転違反者に対して、アルコール依存症に関する受診義務の通知、勧告、再勧告を行うとともに、引き続き、飲酒運転とアルコール問題に関する相談窓口を設置し、再発防止対策に取り組みます。

④消費者啓発事業 予算額 18,898千円

消費者トラブルの未然防止、拡大防止に向けて、成年年齢引下げや点検商法等の悪質商法・定期購入等に係るトラブル対策等、消費者の関心が高いテーマを中心に、若年者や高齢者を対象とした「消費生活出前講座」等の開催や、さまざまな媒体の活用による情報提供など、各世代に応じた方法による消費者啓発・消費者教育を実施します。また、人や社会、地域、環境に配慮した消費行動であるエシカル消費の意識の定着を図るため、さまざまな媒体の活用やセミナー等を実施するとともに、教育機関等と連携し、若年者への普及啓発に取り組みます。

⑤相談対応強化費 予算額 29,273千円

県消費生活センターに消費生活相談員を配置するとともに、研修の受講によりその資質向上を図ることで、相談に迅速かつ的確に対応します。

⑥（一部新）犯罪被害者等支援事業 予算額 6,945千円

「三重県犯罪被害者等支援推進計画」（改定中）に基づき、犯罪被害者等見舞金を給付するほか、新たに損害賠償請求に係る時効成立を防ぐための再提訴費用を助成するなど、犯罪被害者等に寄り添った各種支援施策を推進するとともに、関係機関・団体が相互に連携する総合的な支援体制を強化します。また、犯罪被害者等が二次被害を受けることがないように、県民の皆さんの理解促進を図ります。

⑦（一部新）性犯罪・性暴力被害者支援事業

予算額 25,103千円

「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」において、引き続き電話・SNS相談、付き添い支援等に取り組むとともに、関係機関等と

連携しながら被害者の心身の負担軽減と早期回復を図ります。また、認知度向上のための広報啓発を行うとともに、幼稚園・保育所等の未就学児童・保護者および保育士等に対する啓発と相談窓口の周知に取り組みます。さらに、性犯罪・性暴力の根絶に向けて、条例制定の検討を進めていきます。

(2) 人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

① (新) ジェンダーギャップ解消！！HAPPY☆CYCLE事業

＜事業実施期間：令和6年度＞ 予算額 14,629千円

ジェンダーギャップ解消に向け、誰もが希望に応じた働き方ができ、家庭でも仕事でも活躍できる環境となるよう、県内企業と連携し、企業のトップ、リーダー層の意識啓発に向けた取組や意識・慣行に関する県民対象の調査、働く女性のロールモデルとの交流会等を実施します。

②男女共同参画センター事業 予算額 14,606千円

県男女共同参画センター「フレンテみえ」において、フォーラムやセミナー等による参画・研修機会の提供や情報誌等による情報発信など男女共同参画意識の普及を図ります。また、さまざまな悩みを持つ女性のための相談体制の強化、心理相談や居場所づくりに取り組みます。

③性の多様性を認め合う社会推進事業 予算額 7,268千円

県民の皆さんを対象としたイベントや企業向け研修など、性の多様性に関する理解促進を図るとともに、性の多様性に関する相談窓口の運営や当事者等の交流会の開催、パートナーシップ宣誓制度利用先の拡充等に取り組みます。

④（一部新）外国人住民の安全で安心な生活への支援事業

予算額 27,911千円

「みえ外国人相談サポートセンター」（M i e C o / みえこ）において、外国人住民の生活全般にわたる相談等に的確に対応するほか、災害時に外国人住民を支援するための外国人防災リーダーの育成や実地訓練を行います。また、医療機関における医療通訳の配置を促進するため、医療通訳の育成を行います。

⑤（一部新）外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業

予算額 25,103千円

県多言語情報提供ホームページ（M i e I n f o）等により、行政や生活に係る情報をきめ細かく提供します。また、外国人住民のさまざまなニーズをふまえた日本語学習の機会を提供するため、日本語教育体制整備のための補助金を交付するなど、市町の日本語教室の設置を支援します。また、日本語学習の支援が必要な地域を広くカバーするため、オンライン日本語教室をモデル的に実施します。

⑥差別解消条例推進事業

予算額 3,594千円

人権問題を円滑かつ適切に解決するため、引き続き、県人権センターにアドバイザーを配置し、質の高い相談対応を実施します。また、不当な差別に係る紛争解決のため、「三重県差別解消調整委員会」を運営します。

⑦（一部新）人権相談、調査・研究事業

予算額 10,149千円

県人権センターにおいて関係機関と連携しながら、人権に係るさまざまな相談に対応するとともに、弁護士による専門的な相談（法律相談）を実施します。また、新たにSNSによる人権相談を実施します。



⑧インターネット人権モニター事業 予算額 2,002千円

インターネット上の差別的な書き込みを早期に発見し、削除要請を行うとともに、差別事象の分析を実施します。また、モニタリング説明会を実施するとともに、差別的な書き込みなどを未然に防止するための啓発に取り組みます。

⑨（一部新）人権センター管理運営費 予算額 330,913千円

人権に関する啓発・研修等の拠点施設である県人権センターの管理運営を行います。また、老朽化に伴う施設の改修を行うとともに、展示内容の見直しのための検討会を立ち上げます。

### （3）文化と生涯学習の振興

①（新）文化観光推進事業

＜事業実施期間：令和6年度＞ 予算額 82,000千円

斎宮を核とした文化観光を本格稼働する取組として、斎宮の認知度向上のための情報発信、誘客促進、史跡公園内の周遊構築、新たな文化体験コンテンツの造成などを行い、斎宮の賑わいを創出します。さらに、県立文化施設を中核とした文化観光を他の地域にも展開していきます。

②（一部新）文化交流機能強化事業 予算額 13,149千円

県立文化施設の開館周年記念事業の気運醸成と文化活動の活性化を図るため、次世代を担う子どもたちを主役として、ジュニア管弦楽団や児童合唱団など、子どもたちのための県民参加型コンサートを実施します。

- ③（一部新）三重県文化振興基金積立金 予算額 30,012千円  
令和14年度の県立美術館開館50周年に向け、子どもたちの豊かな感性や創造性を育むため、収蔵品等の充実を図る新たな基金の積立てに取り組みます。また、基金の積立てにおいては、クラウドファンディング等も活用することにより財源の確保に努めます。
- ④（一部新）総合博物館展示等事業 予算額 63,002千円  
開館10周年を記念し、三重の多種多様で豊かな自然や歴史・文化を紹介する特別な企画展や、県総合文化センターと連携し、子どもから大人まで楽しめる企画展を開催します。また、学校や地域と連携して、学芸員の出張講座等のアウトリーチ活動を展開し、人材育成と本県の魅力発信に取り組みます。
- ⑤（一部新）美術館展示等事業 予算額 62,519千円  
日本のシュルレアリスム美術の全貌を紹介する企画展や長崎県美術館と連携し、優れたスペイン美術の絵画を紹介する企画展を開催します。また、教育関係機関等、さまざまな主体と連携した教育普及活動等により、県民の皆さんが美術にふれ親しむ機会を提供します。
- ⑥（一部新）斎宮歴史博物館展示・普及事業 予算額 12,232千円  
開館35周年を記念し、源氏物語を主題とする美術作品等を展示する企画展や、中世の斎宮をテーマに最新の研究成果に基づき斎王制度のありようを紹介する特別展を開催することにより、斎宮の歴史について全時代を通じてより深く理解を深めていただく機会を提供し、史跡斎宮跡の魅力発信に取り組みます。

⑦（一部新）文化会館事業 予算額 68,926千円

県総合文化センターの開館30周年を記念し、県民参加型のオペラを開催するとともに、芸術性の高いオーケストラ、バレエ等から高い人気を誇る歌舞伎等の伝統芸能まで、多彩で魅力的な文化芸術公演やアウトリーチ活動、人材育成に取り組みます。

⑧生涯学習センター費 予算額 9,701千円

多様化・高度化する県民の皆さんの生涯学習ニーズに応えるため、県内の高等教育機関、各種団体等との連携により、三重の歴史・文化など多様で時宜を得たテーマによる学習機会を提供するとともに、地域において生涯学習分野で活動する方々を支援するための研修会を開催します。

⑨（一部新）図書館管理運営費 予算額 199,497千円

県民の皆さんがより良い図書館サービスを等しく利用できるよう図書資料の充実を図るとともに、市町立図書館等と構築した図書館総合情報ネットワークや図書の相互貸借に係る物流ネットワークを適切に運用します。また、県総合文化センター等の開館周年記念にあわせ、記念事業を開催し、利用促進につなげていきます。

（4）2050年カーボンニュートラルの実現

①（一部新）脱炭素社会推進事業 予算額 247,924千円

（267,724千円 ※2月補正含みベース）

国が新たに進める「デコ活」の県内での展開を図るため、事業者、市町等と連携し、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし方」に関する製品・サービス・情報を効果的・効率的に発信するとともに、自家消費型太陽光発電設備の導入促進など、社会実装につなげていきます。

②県有施設脱炭素化推進事業 予算額 83,161千円

県自らが脱炭素化に取り組むことで、社会変革を先導し、地域脱炭素社会づくりの取組を推進するため、県有施設への自家消費型再生可能エネルギーの導入やゼロカーボンドライブを進めます。

③地球温暖化対策普及事業 予算額 16,247千円

「地球温暖化対策計画書制度」の対象となる温室効果ガス排出量の多い事業者に対して、脱炭素化に関する情報提供や助言などを行うことにより、事業者の自主的な取組を促進します。また、脱炭素経営に取り組む意欲のある中小企業等に対して、温室効果ガス排出量の算定や削減目標の設定支援等を行い、原材料の調達から廃棄に至る企業活動全体での温室効果ガス排出量の削減につなげます。

④気候変動適応事業 予算額 3,941千円

県民の皆さん、事業者、市町の気候変動適応に関する理解を深めるために、セミナーの開催等による普及啓発を行います。また、県民の皆さんに気候変動対策をより身近なものとしてとらえてもらうため、三重県気候変動適応センターと連携し、地球温暖化による本県の気候変動やその影響に関する情報を定期的に発信します。さらに、熱中症対策を一層強化するため改正された「気候変動適応法」に基づいて、関係部局や市町と連携した取組を行います。

⑤環境影響・公害審査事業 予算額 974千円

環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業等について、事業者において適切な環境配慮が行われるよう、環境影響評価の取組を促進します。また、公害事前審査や公害紛争処理に係る制度を適切に運用します。

⑥環境学習情報センター運営費 予算額 32,164千円

環境教育・環境学習を推進するため、県環境学習情報センターを拠点として、環境講座や環境保全に関するイベントの開催や指導者の育成、環境に関する情報提供等を行います。

## (5) 持続可能な循環型社会の構築

①地域循環高度化促進事業 予算額 252,053千円

地域の廃棄物を資源としてとらえ、地域での一層の有効活用と資源循環の高度化を促進するため、産業廃棄物税を活用し、産業廃棄物の発生抑制、循環的な利用、地球温暖化対策等に取り組む県内事業者に対して、その経費の一部を補助します。

②食品ロス削減推進事業 予算額 15,968千円

まだ食べられる食品の活用により生活困窮者等を支援する三重県食品提供システム「みえ〜る」について、関係団体等と連携し、運用拡大に取り組みます。さらに、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、飲食店等と連携して、売れ残りや食べ残しによる食品ロスの削減に向けた普及啓発を進めます。

③（一部新）CO<sub>2</sub>削減のための高度な技術を活用したリサイクル等促進事業 予算額 22,494千円

プラスチックの高度なリサイクルを促進するため、事業者、市町と連携し、家庭等で使用した食品トレイを小売店等において高品質かつ効率的に回収し、再び食品トレイにリサイクルする「トレイ to トレイ」のモデル事業を実施します。また、廃棄処理が懸念される使用済み太陽光パネルについて、効率的な回収や高度なリユース・リサイクル事業への新たな参入を促進するため、関連事業者との意見交換の場を設けるとともに、再生資源の活用に向けた調査を実施します。

④プラスチック対策等推進事業 予算額 12,994千円

プラスチックの資源循環を促進するため、排出事業者とリサイクルを行う事業者をつなぐオンライン上のマッチングシステムの運用を開始します。また、海洋プラスチックごみ対策として、ごみ拾いSNSアプリを活用したごみ拾い活動の見える化など、楽しみながらできる取組を通じて散乱ごみ対策を進めます。

⑤（一部新）災害廃棄物適正処理促進事業

予算額 15,080千円

災害時に発生する廃棄物の迅速な処理に向け、現場対応力の向上および大量に発生する混合廃棄物等の広域処理応援体制の強化を図るため、専門知識の習得に向けた研修会の開催や図上演習等を実施するとともに、発災時に住民が実際に廃棄物を搬入する仮置場候補地において、設置や運営の実地訓練を新たに実施するなど、人材の育成を進めます。

⑥不法投棄等の未然防止・早期発見推進事業

予算額 97,028千円

不法投棄の未然防止および早期発見のため、遠隔操作型監視カメラやドローン、不法投棄通報システム（スマホ110番）などICTを活用した監視手法により、効率的・効果的な監視指導を行うとともに、新たに小型監視カメラ等を導入し、市町や自治会等と連携した取組を進めます。また、建設系廃棄物対策として、研修会に加え、解体工事に係る「法令周知マンガ」の多言語化等による一層の活用促進を図ります。

⑦環境修復後の保全管理事業 予算額 62,787千円

環境修復を行った4事案について、地域住民の安全・安心を確保するため、行政代執行で整備した工作物の点検や水質モニタリング等を実施し、生活環境保全上の支障が生じていないことを確認します。

(6) 「きれいで豊かな海」の実現と良好な生活環境の保全

①「きれいで豊かな海」推進事業 予算額 16,635千円

環境基準の達成と生物生産性、生物多様性が調和・両立した「きれいで豊かな海」の実現に向け、第9次水質総量削減計画に基づき、流域下水処理場における栄養塩類管理運転の試行と効果の検証等、農林水産部、県土整備部と連携して取り組みます。また、「三重県きれいで豊かな海」協議会において、各種施策の推進と進捗管理を行います。

②(一部新) 海岸漂着物対策推進事業 予算額 92,289千円

「三重県海岸漂着物対策推進計画」に基づき、海岸漂着物の発生抑制対策および回収・処理の取組を推進するとともに、三県一市等との連携により普及啓発活動を実施します。さらに、令和5年度末策定予定の「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」により、三県で連携して広域的な海洋ごみの発生抑制対策を実施していきます。

③大気テレメータ維持管理費 予算額 117,718千円

大気環境測定局の自動測定機器等の保守および更新を行い、大気汚染の状況をモニタリングするとともに、濃度上昇の際は予報等の発令を行います。また、排出ガス量が多い工場の常時監視を行います。

④河川等公共用水域水質監視費 予算額 26,158千円

公共用水域等の継続的な水質監視を行うことにより、県内の河川、海域および地下水の環境基準の達成状況や推移を把握し、その結果を

水質改善のための必要な施策に反映させるとともに、監視項目や測定頻度等についても検討を行います。

⑤浄化槽設置促進事業補助金 予算額 118,645千円

下水道と同等の処理能力を有する浄化槽や高度処理型浄化槽の設置者への補助や、公営事業として高度処理浄化槽を設置し維持管理を行う市町に対して、助成を行うことにより生活排水処理施設の整備率向上を図ります。



# 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

環境生活部 くらし・交通安全課

1, 3 交通安全班、くらし安全班 : 224-2664

2 消費生活センター班 : 224-2400

県民の皆さんとの連携により、交通事故の防止や消費生活の安全確保、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援に取り組み、くらしの安全・安心を推進します。

性被害への対応については、「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」において、引き続き、相談、付き添い支援に取り組みとともに、性犯罪・性暴力の根絶に向けて、条例制定の検討を進めていきます。

## 1 交通事故のない社会の実現

### (一部新) 交通弱者の交通事故防止事業【8,228千円】

高齢者や歩行者、自転車利用者等の交通弱者等を対象に、テレビ（WEB配信）等を通じた「横断歩道の歩行者優先」など交通ルールの重点的な広報や、ヘルメット着用促進を含めた自転車安全利用の啓発活動に取り組み、交通安全意識の更なる向上を図ります。



### (一部新) 交通安全研修センター管理運営費【50,742千円】

県交通安全研修センターにおいて、道路交通法の改正に準拠した設備（運転シミュレーター）への更新などを進め、幼児から高齢者まで幅広い県民の皆さんを対象にした参加・体験・実践型の交通安全教育を実施します。また、地域や職域で活動する交通安全教育指導者の養成・資質向上を図ります。

### (一部新) 飲酒運転0（ゼロ）をめざす推進運動事業【4,482千円】

「第3次三重県飲酒運転0（ゼロ）をめざす基本計画」をふまえ、テレビ（WEB配信）等を活用した広報とともに、酒類の販売や提供店等への重点的な啓発等により、飲酒運転根絶に向けた取組を進めます。

また、飲酒運転違反者に対して、アルコール依存症に関する受診義務の通知を行うなど、再発防止対策に取り組みます。



## 2 消費生活の安全確保

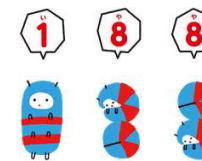
### 消費者啓発事業【18,898千円】

消費者トラブルの未然防止、拡大防止に向けて、点検商法等の悪質商法・定期購入等に係るトラブル対策等をテーマとした「消費生活出前講座」の開催や、さまざまな媒体の活用による情報提供など、各世代に応じた方法による消費者啓発・消費者教育に取り組みます。

また、エシカル消費の意識の定着を図るため、関係機関と連携して普及啓発を行います。

### 相談対応強化費【29,273千円】

県消費生活センターの相談員の資質向上を図り、県民の皆さんからの相談に迅速かつ的確に対応します。



☎消費者ホットライン

## 3 くらしの安全・安心

### (一部新) 犯罪被害者等支援事業【6,945千円】

「三重県犯罪被害者等支援推進計画」に基づき、犯罪被害者等見舞金を給付するほか、新たに、損害賠償請求に係る時効成立を防ぐための再提訴費用を助成するなど、犯罪被害者等に寄り添った各種支援施策を推進します。

また、犯罪被害者等が二次被害を受けないよう、県民の皆さんの理解促進を図ります。

### (一部新) 性犯罪・性暴力被害者支援事業【25,103千円】

「よりこ」において、引き続き電話・SNS相談、付き添い支援等に取り組みとともに、関係機関等と連携しながら被害者の心身の負担軽減と早期回復を図ります。

また、認知度向上のための広報啓発を行うとともに、幼稚園・保育所等の未就学児童・保護者および保育士等に対する啓発と相談窓口の周知に取り組みます。

さらに、性犯罪・性暴力の根絶に向けて、条例制定の検討を進めていきます。



# 人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

環境生活部

- 1 ダイバーシティ社会推進課（男女共同参画班）：224-2225  
ダイバーシティ社会推進課（多文化共生班）：222-5974
- 2 人権課：224-2278

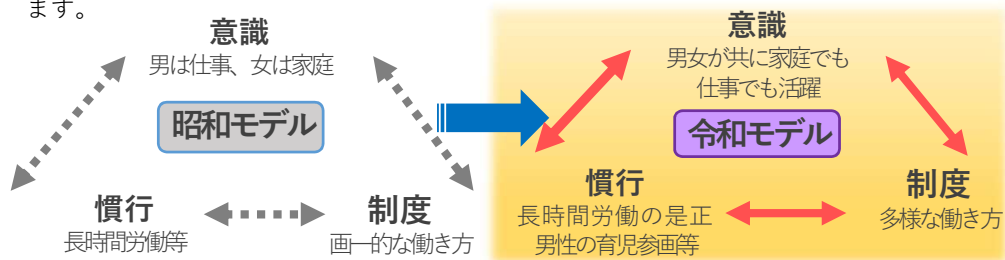
県民一人ひとりが互いの人権を尊重するとともに、性別や国籍等にかかわらず、誰もが希望を持って挑戦し、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けた取組を進めます。

「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に基づいて相談体制を充実させるとともに、人権啓発やインターネット上の人権侵害対策を講じるなど総合的な対策を推進します。

## 1 誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

### （新）ジェンダーギャップ解消！！HAPPY☆CYCLE事業【14,629千円】

誰もが希望に応じた働き方ができ、家庭でも仕事でも活躍できる環境（令和モデル）となるよう、企業のトップ、リーダー層の意識啓発に向けた取組や、県民を対象としたジェンダーギャップに関する意識調査、働く女性のロールモデルとの交流会等を実施します。



### 男女共同参画センター事業【14,606千円】

政策・方針決定過程への女性の参画促進や、性別による固定的な役割分担意識にとられない多様な生き方が浸透するよう、一層の普及啓発に取り組みます。女性のための総合相談等、心の負担の軽減に取り組みます。

### 性の多様性を認め合う社会推進事業【7,268千円】



イベントや企業向け研修など、性の多様性に関する理解促進を図るとともに、相談窓口の運営や当事者等の交流会の開催、パートナーシップ宣誓制度を運用します。

### （一部新）外国人住民の安全で安心な生活への支援事業【27,911千円】

外国人相談サポートセンター（MieCo）において生活全般に関する相談対応を行うほか、災害時においても外国人住民を適切にサポートするため、外国人防災リーダーの育成や避難所での受入訓練を行います。また、医療通訳人材の育成を行い、医療機関での配置に繋がります。



### （一部新）外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業【25,103千円】

外国人住民のニーズをふまえた日本語学習の機会を提供するため、補助金を交付するなど、市町の日本語教室の設置を支援します。また、日本語学習の支援が必要な地域を広くカバーするため、オンライン日本語教室をモデル的に実施します。



## 2 人権が尊重される社会づくり

### 差別解消条例推進事業【3,594千円】

人権問題を円滑かつ適切に解決するため、引き続き、県人権センターにアドバイザーを配置し、質の高い相談対応を実施します。また、不当な差別に係る紛争解決のため、「三重県差別解消調整委員会」を運営します。

### （一部新）人権相談、調査・研究事業【10,149千円】

県人権センターにおいて関係機関と連携しながら、人権に係るさまざまな相談に対応するとともに、弁護士による専門的な相談（法律相談）を実施します。また、新たにSNSによる人権相談を実施します。

### インターネット人権モニター事業【2,002千円】

インターネット上の差別的な書き込みを早期に発見し、削除要請を行うとともに、差別事象の分析を実施します。また、モニタリング説明会を実施するとともに、差別的な書き込みなどを未然に防止するための啓発に取り組みます。

### （一部新）人権センター管理運営費【330,913千円】

人権に関する啓発・研修等の拠点施設である県人権センターの管理運営を行います。また、老朽化に伴う施設の改修を行うとともに、展示内容の見直しのための検討会を立ち上げます。

県人権センター  
マスコットキャラクター



ミッコロ

# 文化と生涯学習の振興

環境生活部  
文化振興課：224-2176

今後の文化振興施策の具体的な方向性を定めた「三重県文化振興計画（仮称）」に基づき、文化の力で心豊かに活力ある三重の実現に向け、施策を着実に推進していきます。県総合博物館（MieMu）や齋宮歴史博物館、県総合文化センターでは、開館周年にあわせて、子どもから大人まで楽しめる企画展や連携イベントを開催するとともに、県立美術館においては、子どもたちが著名な美術作品にふれる機会を創出するため、収蔵作品の充実を進めるなど、県民の皆さんが文化にふれ親しむ機会を提供します。また、齋宮を核とした文化観光の取組により、齋宮の賑わいを創出します。

## 1 県立文化施設を中核とした文化観光の取組

（新）文化観光推進事業 【82,000千円】

県立文化施設が三重の文化の拠点となり、多様で豊かな歴史・文化資産の価値を高めるとともに、訪れる人がより体感できる仕組みを県観光部や関係市町、DMO等と連携して構築します。

- ・齋宮を核とした文化観光：認知度向上、誘客促進、史跡公園内における周遊の仕組みの構築、新たな体験コンテンツの造成
- ・文化観光の横展開：新たな文化体験ルート（津と伊賀地域を結ぶルート）の構築



発掘調査体験



古代衣装体験



食文化体験

## 2 子どもたちの豊かな感性や創造性を育む取組

（一部新）文化交流機能強化事業 【13,149千円】

文化活動の次世代を担う子どもたちを主役として県立文化施設の周年事業に関連したイベントを実施するとともに、各文化施設間の連携イベントを一体的に情報発信します。

- ・ジュニア管弦楽団や児童合唱団等が共演する、子どもたちによる子どもたちのためのコンサートを開催



ジュニア管弦楽団

（一部新）三重県文化振興基金積立金 【30,012千円】

子どもたちが著名な美術作品にふれる機会を創出するため、収蔵品の充実に向けた基金の積立を実施します。

## 3 県立文化施設の開館周年記念の取組（展覧会の名称は仮称）

県総合博物館 開館10周年記念！

（一部新）総合博物館展示等事業  
【63,002千円】

『パール海の宝石、神秘の輝き』  
『刀剣 三重の刀とその刀工』  
『金曜ロードショーとジブリ展』  
等の子どもから大人まで楽しめる企画展を開催します。



「金曜ロードショーとジブリ展」  
©Studio Ghibli

県立美術館

（一部新）美術館展示等事業  
【62,519千円】

『シュルレアリスムと日本』『果てなきスペイン美術一拓かれる表現の地平』等の展示を行うとともに、開館周年を迎える文化施設との連携イベントを開催します。



カレーニョ  
《聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者ヨハネのいる聖母子》  
（長崎県美術館蔵）

齋宮歴史博物館 開館35周年記念！

（一部新）齋宮歴史博物館展示・普及事業  
【12,232千円】

『源氏物語と齋宮一王朝のきらめき 光る君の栄華一』  
『齋宮・常設展示室「齋王の食事」』『中世の齋宮とその時代背景』等の齋宮の魅力を伝える展示を行います。



源氏物語図屏風

県総合文化センター 開館30周年記念！

（一部新）文化会館事業  
【68,926千円】

県民参加型のオペラ『カルメン』『佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団』など、多彩で魅力的な文化芸術公演を開催します。



佐渡裕さん  
©Takashi Iijima

生涯学習センター費  
【9,701千円】

スピードスケート金メダリスト小平奈緒さんにお話いただくなど、学びにつながる事業を展開していきます。



小平奈緒さん

（一部新）図書館管理運営費  
【199,497千円】

図書資料の充実を図るとともに、県総合文化センター等の開館周年にあわせ、記念事業等を開催します。

# 2050年カーボンニュートラルの実現

環境生活部環境共生局  
地球温暖化対策課：224-2368

カーボンニュートラルの実現に向けて、太陽光発電設備等の導入による創エネとエネルギーの地産地消を進めるとともに、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る取組の展開やその定着を促進します。また、再生可能エネルギーの導入等が環境に配慮して行われるよう、環境影響評価制度を適切に運用します。

## 1 地球温暖化対策の推進

### (一部新) 脱炭素社会推進事業【247,924千円】

#### ■(新) みえ「デコ活」取組推進

事業者と連携し、国が新たに進める省エネ家電、電気自動車、省エネ住宅、自家消費型太陽光発電設備の導入促進などの「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動(デコ活)」について、県内での展開と、その定着を促進

#### ■再エネ普及促進

- 太陽光発電設備等設置費補助
- 太陽光発電設備等共同購入
- 県内産再エネの利用促進

#### ■電気自動車等活用推進

県有施設に設置した電気自動車用充電器を運用し、利便性の向上による電気自動車への転換を促進

#### 事業者



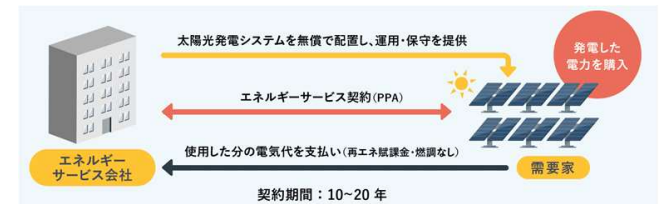
#### 県民



### 県有施設脱炭素化推進事業【83,161千円】

#### ■再エネ導入の推進

初期投資が不要なPPA(電力販売契約)を活用し、県有施設への太陽光発電設備の導入により使用電力を脱炭素化



出典：環境省HP

#### ■ゼロカーボンドライブの推進

EVの導入と併せて、ソーラーカーポートと蓄電池を整備し、創エネ・蓄エネによるゼロカーボンドライブを実現



出典：中国電力HP

### 地球温暖化対策普及事業【16,247千円】

#### ■自主的な取組の促進

事業者の脱炭素に関する取組状況等を実地調査し、情報提供や助言等により、事業者の更なる自主的な取組を促進

#### ■脱炭素経営支援

中小企業の脱炭素経営の取組支援



### 気候変動適応事業【3,941千円】

#### ■気候変動適応の取組の促進

- 「気候変動適応法」の改正に伴う熱中症対策強化に関する市町等との連携
- 三重県気候変動適応センターと連携し、県内の気候変動影響等に関する情報を収集、整理・分析、発信
- 気象台と連携した気候講演会の開催等による普及啓発



## 2 総合計画の推進

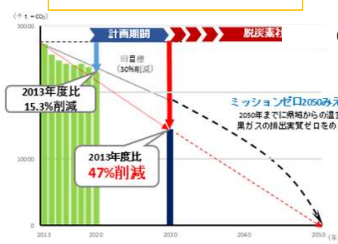
#### ■三重県脱炭素社会推進本部

各部局の脱炭素社会の実現に向けた取組を総合的に推進

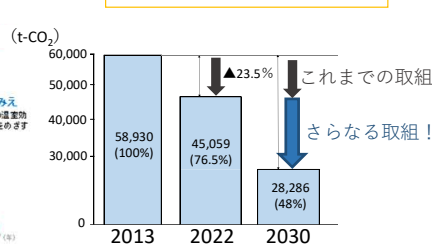
#### ■三重県地球温暖化対策総合計画推進委員会

「三重県地球温暖化対策総合計画」の各部局の施策や取組等の進捗状況の評価等

#### 県域の脱炭素社会の推進



#### 三重県庁の削減取組の推進



## 3 環境配慮取組・行動の推進

### 環境影響・公害審査事業【974千円】

風力発電の導入等について、周辺環境と調和した開発となるよう環境アセスメント制度の適切な運用等



### 環境学習情報センター運営費【32,164千円】

県環境学習情報センターを拠点とした環境講座や環境保全に関するイベントの開催、指導者の育成等



# 持続可能な循環型社会の構築

環境生活部環境共生局  
 1, 2, 3 資源循環推進課 : 224-3310  
 3 廃棄物対策課 : 224-2483  
 3 廃棄物監視・指導課 : 224-2388

持続可能な循環型社会の構築に向け、市町、事業者、NPO等のさまざまな主体とのパートナーシップを強化し、新たな知見や技術を積極的に活用することにより、3R+Rによる資源の有効利用の促進や廃棄物処理の安全・安心の確保に取り組みます。また、循環関連産業の振興を通じ、脱炭素化や地域課題の解決にもつながる資源循環の取組を促進します。

## 1 資源の有効利用の促進

### 地域循環高度化促進事業【252,053千円】

- 産業廃棄物の発生抑制、循環的利用、減量化に加え、地球温暖化対策に資する事業者による設備導入等に対して、その経費の一部を補助

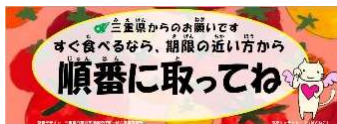


プラスチック高度選別設備



### 食品ロス削減推進事業【15,968千円】

- まだ食べられる食品の活用により生活困窮者等を支援する食品提供システム「みえ〜る」の参加企業・団体の拡大
- スーパーマーケットやコンビニエンスストア等と連携した食品ロスの削減に向けた普及啓発



店舗における啓発掲示

## 2 脱炭素化等をチャンスととらえた産業振興

### (一部新) CO<sub>2</sub>削減のための高度な技術を活用したリサイクル等促進事業【22,494千円】

- 【新】小売店等において回収した食品トレイを再び食品トレイにリサイクルする「トレイtoトレイ」モデル事業を実施



- 使用済み太陽光パネルの高度な資源循環に向けて、関連事業者との意見交換や再生資源の活用に向けた調査を実施



### プラスチック対策等推進事業【12,994千円】

- プラスチックの材料リサイクル促進に向けて、排出事業者とリサイクル事業者とのオンライン上のマッチングシステムの運用を開始
- ごみ拾いSNSアプリを活用するなど、楽しみながらできる取組を通じた散乱ごみ対策の推進



SNSアプリ

## 3 廃棄物処理の安全・安心の確保

### (一部新) 災害廃棄物適正処理促進事業【15,080千円】

- 【新】発災時に住民が実際に廃棄物を搬入する仮置場候補地において、設置や運営の訓練を実施
- 専門知識の習得に向けた研修会の開催や図上演習等を実施



### 不法投棄等の未然防止・早期発見推進事業【97,028千円】

- 不法投棄通報システムなどICTを活用した監視指導の実施
- 小型監視カメラ等を導入し、市町や自治会等と連携した取組を促進
- 解体工事に係る「法令周知マンガ」の一層の活用促進



スマホ110番

### 環境修復後の保安全管理事業【62,787千円】

- 地域住民の安全・安心を確保するため、行政代執行で整備した工作物の点検や水質モニタリング等を実施し、生活環境保全上の支障が生じていないことを確認

桑名市五反田事案 四日市市大矢知・平津事案  
 桑名市源十郎新田事案 四日市市内山事案

# 「きれいで豊かな海」の実現と良好な生活環境の保全

環境生活部環境共生局  
大気・水環境課：224-2380

従来の水質の「きれいさ」に加え、生物生産性や生物多様性にも配慮した「きれいで豊かな海」の実現に向け、さまざまな主体と連携し、総合的な施策を推進するとともに、伊勢湾流域圏で連携し、海洋ごみの発生抑制に取り組みます。また、良好な生活環境の保全に向けた取組を継続します。

## 1 「きれいで豊かな海」の実現と「海洋ごみ対策」の推進

### 「きれいで豊かな海」推進事業 【16,635千円】

環境基準の達成と生物生産性、生物多様性が調和・両立した「きれいで豊かな海」の実現に向け、第9次水質総量削減計画に基づき、農林水産部、県土整備部と連携して取り組みます。また、「三重県きれいで豊かな海」協議会において、各種施策の推進と進捗管理を行います。

#### 【主な取組】

- ・県内下水処理場の栄養塩類管理運転の試行
- ・藻場、干潟および浅場の保全・再生等の推進
- ・各種取組の効果検証と施策へのフィードバック



### (一部新) 海岸漂着物対策推進事業 【92,289千円】

「三重県海岸漂着物対策推進計画」に基づき、海岸漂着物の発生抑制対策および回収・処理の取組を推進します。さらに、令和5年度末策定予定の「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」により、三県で連携した実態調査や県民による一斉清掃を実施し、これらの結果をふまえた広域的な海洋ごみの発生抑制対策を実施します。

#### 【主な取組】

- ・市町等が実施する海洋ごみ等の回収・処理の支援
- ・海洋ごみの調査
- ・流域圏の県民による、広域的な清掃活動の推進
- ・啓発動画やSNS等を活用した普及啓発活動



海洋ごみの現状



海洋ごみの調査



清掃活動の推進



啓発動画

## 2 生活環境の保全

### 大気テレメータ維持管理費 【117,718千円】

大気汚染の状況をモニタリングすることによって、環境基準の達成状況を把握し、光化学オキシダントやPM2.5の濃度が上昇した際は予報等の発令を行います。また、排出ガス量が多い工場の常時監視を行います。

### 河川等公共用水域水質監視費 【26,158千円】

公共用水域等の継続的な水質監視を行うことにより、県内の河川、海域および地下水の環境基準の達成状況や推移を把握し、その結果を水質改善のための必要な施策に反映させるとともに、監視項目や測定頻度等についても検討を行います。

### 浄化槽設置促進事業補助金 【118,645千円】

浄化槽設置者への補助や公営事業として浄化槽を設置し維持管理を行う市町に対して、助成を行うことにより、生活排水処理施設の整備率向上を図ります。

## 【その他の主要事業】

### 事業の内容

《政策名：防災・減災、県土の強靱化》

〈施策名：（1-2）地域防災力の向上〉

1 災害ボランティア支援等事業 8, 845千円

【（1-2-3）災害ボランティアの活動環境の充実・強化】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費）

みえ災害ボランティア支援センター（MVSC）において、能登半島地震の被災地の支援ニーズに応じたボランティア活動が、迅速かつ円滑に行えるよう取り組みます。また、各支援主体（NPO、ボランティア団体、企業等）が災害発生時に協働して支援活動を実施できるよう、MVSCのコーディネート機能強化や市町における受援体制整備の支援に取り組みます。

《政策名：暮らしの安全》

〈施策名：（3-1）犯罪に強いまちづくり〉

1 安全安心まちづくり事業 504千円

【（3-1-1）みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費）

「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」（改定中）に基づき、県民の皆さんや事業者等さまざまな主体と協働しながら、安全・安心まちづくり地域リーダー養成講座や安全・安心まちづくりフォーラムを開催するなど、犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり実現に向けた取組を進めます。また、県民の皆さんの体感治安向上に向け、防犯活動の「見える化」に取り組みます。

〈施策名：（3-2）交通安全対策の推進〉

1 交通安全企画調整費 1, 451千円

【（3-2-1）交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費）

「第11次三重県交通安全計画」に基づき、市町や関係機関・団体と連携を図りながら交通安全対策を推進するとともに、SNS広告を活用するなどして、「三重県交通安全条例」に位置付けた、県民の皆さんの交通安全意識の向上や、自転車損害賠償責任保険等の加入促進を図ります。

2 交通安全運動推進事業 6, 274千円

【（3-2-1）交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費）

関係機関・団体と連携して、四季の交通安全運動等における年間を通じた交通安全啓発活動（交通安全イベントの開催、ラジオによる広報等）を展開し、交通事故防止の徹底に向けた取組を推進します。

## 事業の内容

〈施策名：（3-3）消費生活の安全確保〉

1 消費者行政推進事業 15,434千円

【（3-3-1）自主的かつ合理的な消費活動への支援】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 7 消費生活事業費）

県、市町の相談員等を対象とした研修会を開催し、消費生活相談員の資質向上を図るとともに、弁護士等の活用により県・市町の消費生活センター等の専門性を確保し、県全体の相談対応能力の向上を図ります。また、消費者啓発地域リーダーの新規養成やフォローアップを実施し、地域における啓発活動や見守り活動を促進するとともに、国交付金の活用等により市町における消費者行政の推進を支援します。

2 事業者指導事業 7,413千円

【（3-3-2）消費者被害の救済、適正な取引の確保】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 7 消費生活事業費）

適正な商取引、商品表示等が行われるよう、不当商取引指導専門員を配置し、事業者に対して監視・指導を行うとともに、広域的に活動する悪質な事業者に対しては、国、近隣県等関係機関と連携し、実効性のある事業者指導を行います。また、事業者面談や事前相談を通じて、適正な商取引や商品等の表示に向けた事業者の自主的な取組を支援します。

〈政策名：環境〉

〈施策名：（4-1）脱炭素社会の実現〉

1 環境行動促進事業 6,974千円

【（4-1-1）環境教育・環境学習の推進】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 1 環境総務費）

脱炭素社会づくりに向けた県民運動を促進するため、三重県地球温暖化防止活動推進センターを拠点とした地球温暖化防止活動推進員による活動を支援します。また、学校や企業と連携した啓発活動、県民の皆さん一人ひとりの環境に配慮した行動変容を促すための取組を通じて、温室効果ガスの排出削減等に取り組みます。

〈施策名：（4-2）循環型社会の構築〉

1 「ごみゼロ社会」実現推進事業 56,206千円

【（4-2-1）パートナーシップで取り組む「3R+R」】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費）

廃棄物の「3R+R」を促進するため、市町のごみ分別アプリを活用するなど、さまざまな機会をとらえて、ごみの減量や資源循環に関する情報を発信します。また、RDF製造団体の新たなごみ処理体制への円滑な移行のため、ポストRDFに向けて必要となる施設整備等に対する支援を行うなど、市町等が設置する一般廃棄物処理施設の円滑な整備に向けた技術的支援等を行います。



## 事業の内容

- 2 産業廃棄物適正処理推進事業 97,646千円  
【(4-2-3) 廃棄物処理の安全・安心の確保】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費)  
産業廃棄物の適正処理を推進し、廃棄物処理に対する県民の皆さんの安全・安心を確保するため、産業廃棄物処理業等に係る許可申請等の厳正な審査を行うなど法令等に基づいた確かな運用を図るとともに、県内で排出される産業廃棄物が、遵法性や事業の透明性等の基準に適合した優良認定処理業者で処理されることを促進します。
- 3 循環型社会形成施策推進事業 22,174千円  
【(4-2-5) 人材育成とICTの活用】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費)  
さまざまな主体による持続可能な循環型社会の構築に向けた取組を促進するため、動静脈連携や脱炭素化、DXの推進に関する国や県の動向、事業者の先進事例等について情報共有を図るセミナーを開催します。また、「三重県循環型社会形成推進計画」の取組の点検・評価を行うとともに、次期計画の策定のための基礎資料とするため、産業廃棄物の発生および処理状況の実態を調査します。
- 〈施策名：(4-4) 生活環境の保全〉
- 1 工場・事業場大気規制費 9,499千円  
【(4-4-1) 大気・水環境等の保全】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
「大気汚染防止法」等の規制対象工場に立入検査を行い、施設の適正な維持管理を指導するとともに、有害大気汚染物質の県内の状況を把握するため、調査等を行います。また、「三重県生活環境の保全に関する条例」に係る規制の合理化に関する検討を行います。
- 2 アスベスト飛散対策事業 7,614千円  
【(4-4-1) 大気・水環境等の保全】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
アスベストによる健康被害の発生を未然に防止するため、建築物の解体現場等の監視・指導を行うとともに、アスベスト使用建築物等の把握を進めます。

## 事業の内容

- 3 土砂条例施行費 7, 886千円  
【(4-4-1) 大気・水環境等の保全】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
「三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例」に基づき厳正に審査するとともに、不適切な土砂等の埋め立て等が行われないよう必要な指導を行います。また、令和2年4月の条例施行後の社会情勢や運用上の課題をふまえ、条例等の見直しの検討を行います。

- 4 生活排水総合対策指導事業 4, 791千円  
【(4-4-2) 生活排水処理施設の整備促進】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
生活排水の総合的な推進のため、「生活排水処理アクションプログラム(三重県生活排水処理施設整備計画)」に基づき、関係部局が連携し、進行管理を行います。また、浄化槽の適正管理のため、指定検査機関等と連携し、浄化槽法定検査の受検率向上に取り組めます。

《政策名：交通・暮らしの基盤》

〈施策名：(11-4) 水の安定供給と土地の適正な利用〉

- 1 水道事業等指導事業 49, 877千円  
【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
県民の皆さんに対し、安心して飲める水が安定的に供給されるよう、水道の施設整備や事業経営および施設の維持管理についての指導監督を行います。また、県内の水道事業が将来にわたり経営環境を維持していけるよう水道基盤強化の取組を促進します。

- 2 生活基盤施設耐震化等補助金 1, 225, 055千円  
【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
水道事業を行う市町等に対し、国交付金を財源とした助成を行い、水道施設の耐震化や老朽化対策および水道事業の広域化の取組を支援します。

- 3 水道事業会計支出金 100, 337千円  
【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
水道広域化施設等に対し、一般会計から水道事業会計に出資・補助を行い、地方公営企業の経営健全化を促進し、その経営基盤の強化を図ります。

## 事業の内容

《政策名：人権・ダイバーシティ》

〈施策名：（12-1）人権が尊重される社会づくり〉

- 1 人権施策総合推進事業 1, 639千円  
【（12-1-1）人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】  
（第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費）  
人権が尊重される社会を実現していくため、「人権が尊重される三重をつくる行動プラン」（改定中）に基づき、人権施策の進捗管理を行います。
- 2 人権文化のまちづくり創造事業 786千円  
【（12-1-1）人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】  
（第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費）  
人権が尊重されるまちづくりの取組が県内全域において展開されるよう、地域の団体等が主体的に開催する研修会等への講師派遣による支援を行います。
- 3 隣保館運営費等補助金 249, 131千円  
【（12-1-1）人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】  
（第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費）  
市町が設置する隣保館において、相談事業、啓発および広報活動、地域交流等の隣保事業が推進されるよう支援します。
- 4 人権啓発事業 20, 469千円  
【（12-1-1）人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】  
（第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費）  
県民の皆さん一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会の開催やスポーツ組織との連携による啓発等を行うとともに、地域の実情に応じた啓発活動を展開することができるよう、市町の取組に対する支援を行います。
- 5 同和問題等啓発事業 11, 185千円  
【（12-1-1）人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】  
（第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費）  
部落差別（同和問題）をはじめとする人権課題について、県民の皆さんの理解と認識を深め差別のない社会を実現するため、さまざまな媒体の活用やポスター等、多様な手法による啓発を実施します。

〈施策名：（12-2）ダイバーシティと女性活躍の推進〉

- 1 広げようダイバーシティみえ推進事業 2, 344千円  
【（12-2-4）ダイバーシティ・性の多様性を認め合う環境づくり】  
（第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費）  
誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会に向けた理解や行動につながるよう、県民の皆さんを対象にしたワークショップを実施します。

## 事業の内容

〈施策名：（12-3）多文化共生の推進〉

1 （一部新）多文化共生がもつ力の活用事業 4, 006千円

【（12-3-1）多文化共生社会づくりへの参画促進】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 6 国際化対応費）

多文化共生社会づくり施策を推進するため、有識者や外国人住民、外国人支援団体、経済団体等と意見交換を行います。また、国が新たに定める外国人との共生に係る啓発月間（1月）にあわせ、多文化共生意識の醸成に向けた「三重県多文化共生フォーラム（仮称）」を開催します。

〈政策名：教育〉

〈施策名：（14-5）誰もが安心して学べる教育の推進〉

1 （新）私立学校不登校児童生徒支援事業 900千円

【（14-5-1）不登校の状況にある児童生徒への支援】

〈事業実施期間：令和6年度〉

（第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費）

不登校児童生徒の学びの機会確保のため、フリースクール等を利用する私立学校の児童生徒への経済的な支援を行います。

〈施策名：（14-6）学びを支える教育環境の整備〉

1 私立高等学校等振興補助金 5, 255, 017千円

【（14-6-5）私学教育の振興】

（第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費）

公教育の一翼を担う私立学校（小学校・中学校・中等教育学校・高等学校）において、建学の精神に基づく個性豊かで多様な教育が推進されるよう経常的経費への助成を行います。

〈政策名：子ども〉

〈施策名：（15-1）子どもが豊かに育つ環境づくり〉

1 私立高等学校等就学支援金交付事業 3, 003, 665千円

【（15-1-3）子どもの貧困対策の推進】

（第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費）

私立学校に通う子どもたちが安心して学べるよう、就学支援金等の支給を行うことにより、保護者等の経済的負担の軽減を図ります。

2 （一部新）私立高等学校等教育費負担軽減事業 228, 939千円

【（15-1-3）子どもの貧困対策の推進】

（第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費）

私立学校に通う子どもたちが安心して学べるよう、授業料減免を行った学校法人に対する助成を拡充するとともに、奨学給付金の支給等を行うことにより、保護者等の経済的負担の軽減を図ります。

## 事業の内容

《政策名：文化・スポーツ》

〈施策名：（16-1）文化と生涯学習の振興〉

1 文化活動連携事業 19,262千円

【（16-1-1）文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 3 文化振興費）

「三重県文化振興計画（仮称）」により、文化施策を総合的・計画的に推進します。また、三重県文化賞の実施や県内各地域の文化活動等の情報を収集・発信することにより、さまざまな主体の文化活動を促進します。

《行政運営》

〈行政運営名：（1）総合計画の推進〉

1 みえ県民交流センター指定管理事業 26,483千円

【（20-1-5）県民の社会参画の促進】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費）

県民の皆さんの社会参画や連携を促進するとともに、NPOが、多様化、複雑化する地域の諸課題に対応できるよう、引き続き、みえ県民交流センターを拠点に情報発信やセミナー等の開催、社会課題の解決に取り組むNPOおよびそれを支援する中間支援組織の基盤・機能強化の支援に取り組めます。